

各位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ B O X # 0 3 2 4

## メルビン錠の乳酸アシドーシス発現について

経口糖尿病薬「メルビン錠」（大日本住友）は重大な副作用である「乳酸アシドーシス」の発現を避けるため、乳酸アシドーシスの既往のある患者、腎機能障害、透析患者などには【禁忌】となっています。

しかし、禁忌症例に対して投与され、乳酸アシドーシスを発現した症例が報告されており、中には腎機能が評価されないまま処方された例や、投与継続中に全身状態が悪化した後も漫然と投与が続けられた例も含まれていました。

特に、腎機能の低下はメルビン錠の血中濃度上昇につながるおそれがあることから、最も注意が必要な因子とされています。腎機能評価の際には、血清クレアチニンだけでなく、eGFR（推算糸球体濾過量）などの値も考慮し、腎機能障害が認められた場合には投与しないよう注意してください。

下記のような病態は乳酸アシドーシスを起こしやすいため【禁忌】となっています。

### 乳酸アシドーシスを起こしやすい病態（【禁忌】より抜粋）

- 乳酸アシドーシスの既往
- 腎機能障害（軽度障害も含む）
- 透析患者（腹膜透析を含む）
- 肝機能障害
- ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓など心血管系、肺機能に高度の障害のある患者及びその他の低酸素血症を伴いやすい状態
- 過度のアルコール摂取者
- 脱水症、下痢、嘔吐等の胃腸障害
- 高齢者
- 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- 重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者

\* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

\* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。